





ポロポロ

ポロポロ

ポロ

...

ポロ

ポロ

キキキ

キキキ

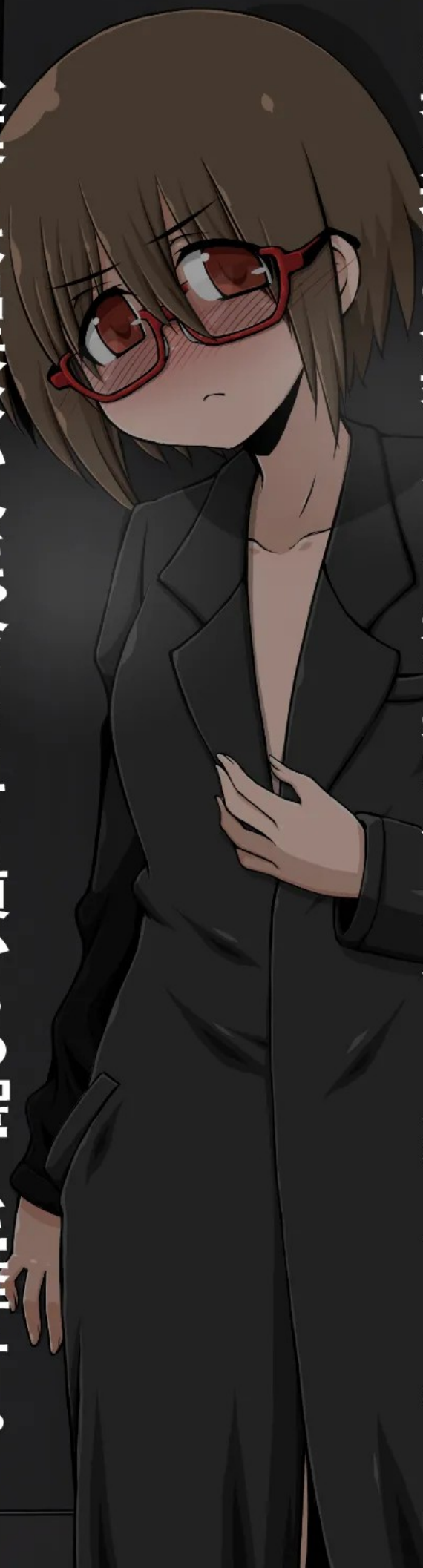
キキキ

キキキ

「誰もいない…よね？事前に調べてこの周辺は深夜は人通りがほぼないし、
いても残業で疲れ切ったサラリーマンぐらいしか来ない」

「怖気付いちゃ駄目。わざわざ家から離れたこんな場所に来たんだ。しかも
ここに来る途中の公衆トイレで着て来た服はカバンに入れて置いて来た…」

「もう後戻りは出来ないんだ。今日こそ日頃からの『夢』を実行する！」





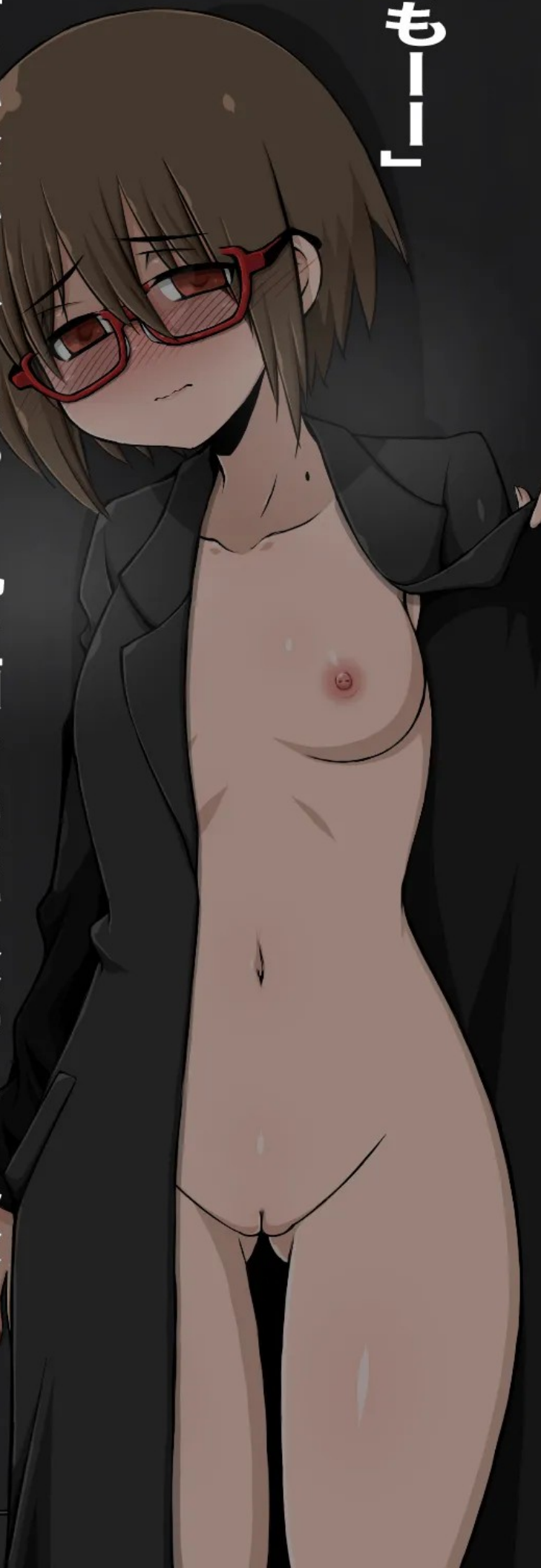
ん
...
♥

おろ
♥

「うわ…めくっちゃった。風が少し冷たいな。ていうか心臓が凄い勢いでドキドキしてるし、恥ずかしさで頭が沸騰しそう」

「でもー」

「誰もいない中、ちよつと肌を晒したただけなのにこんなに気持ちいいなら全部晒したらどれだけ気持ちいいんだろうっ♡」







三下三下♡

三下♡

はあ♡

はあ♡

三下♡

「ああ…やっっちゃった♡夜中だし、人通りも少ないこんな路地裏でだけ♡遂に…外で裸になっちゃった♡」

「おっぱいもおま○こも…恥ずかしい所まる見えだ♡」

「もし今ここに人が来たら私の人生終わっちゃっ♡」

「もし怖い人に見つかったらきつと私みたいな変態女

強引に組み敷かれて死ぬまでレイプされちゃうかも♡」



おっ
♡



あ
♡

おっ
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

ちゅ
♡
♡
♡
♡
く
♡
♡
♡

く
♡
♡
♡

「あは…これ凄い♡部屋でオナニーするよりずっと気持ちいい♡」

「外で…こんな♡誰かに見られちゃうかもしれないのに指が止まらない♡」

「あっ♡だめ♡イく♡外でイっちゃう♡こんな場所で…いけない事してるのに♡」

「声をもっと出したい♡大きな喘ぎ声をあげて快感に溺れたい♡でもそんな事

したら流石に声に釣られて人が集まっちゃう。こんな状況見られたら言い訳

なんて出来ないよね…そしてバシちゃうんだ。私が変態な露出狂だってー」





あっ



あゝん



かっく

くちゅ

しゅぽ

しゅぽ

すぽ

かっく

いっく

ため

ピクンッ

ピクンッ

「露出狂ってバレたから何？もうこんな格好してる変態なんだから今更だよね♡
それに声出した方が気持ちいいんだよ？だったら気にせず声出せばいいじゃん♡」



「露出オナニー気持ちいいっ♡もっ♡もっ♡と声出したい♡誰かに聞こえるぐらい
大きな…だめ♡いく♡いく♡もう…きちやうっ♡いつちゃー」



カ
ク
ツ

カ
ク
ツ

カ
ク
ツ

イ
ク
ツ

ははは...

ははは...♡

ははは...♡

ははは...♡

ははは

ははは



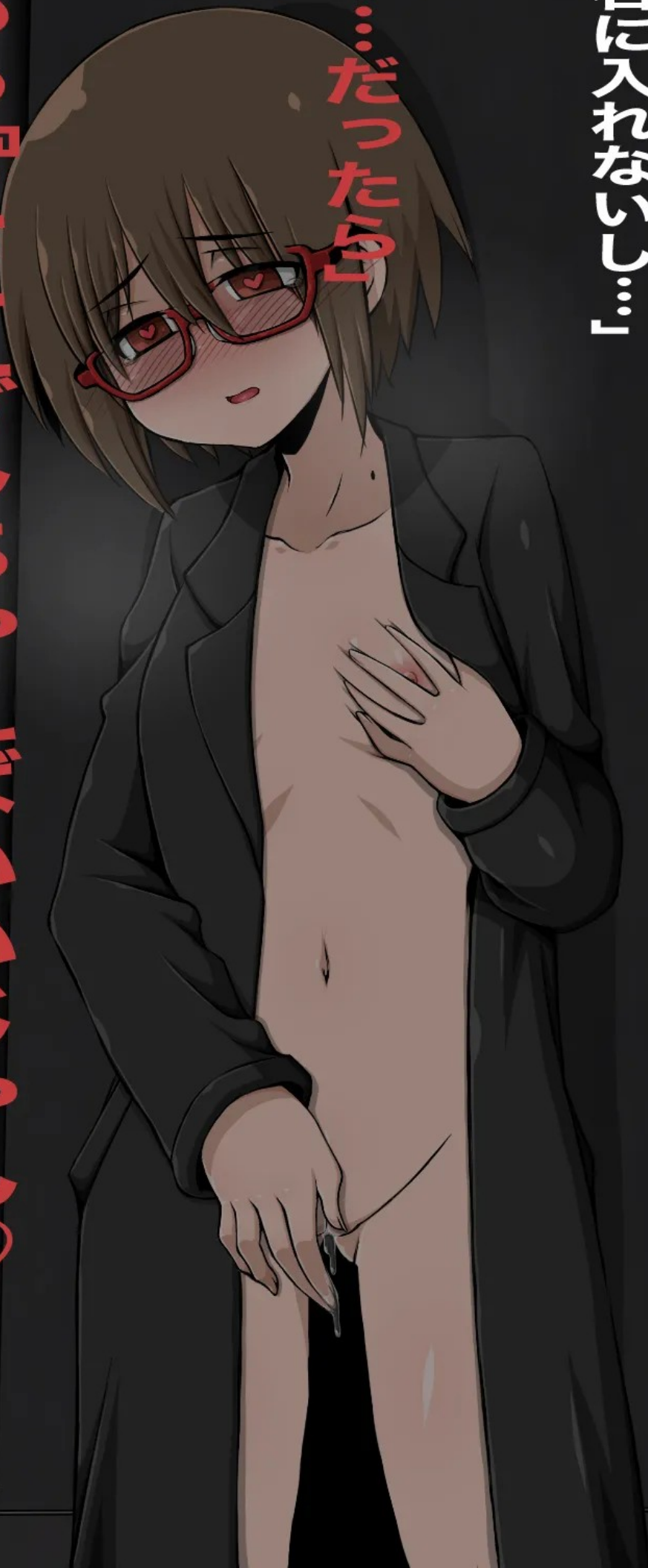
ふんふん...



「あう…やっぱり夜だと少し寒いかも。ちよつとトイレに行きたくなつちやつた」
「着替えた公衆トイレは…ちよつと距離あるし、コンビニのトイレもこんな格好じゃ
流石に入れないし…」

「……だつたら」

「もう『んんん』でしちやえばいいじゃん♡」

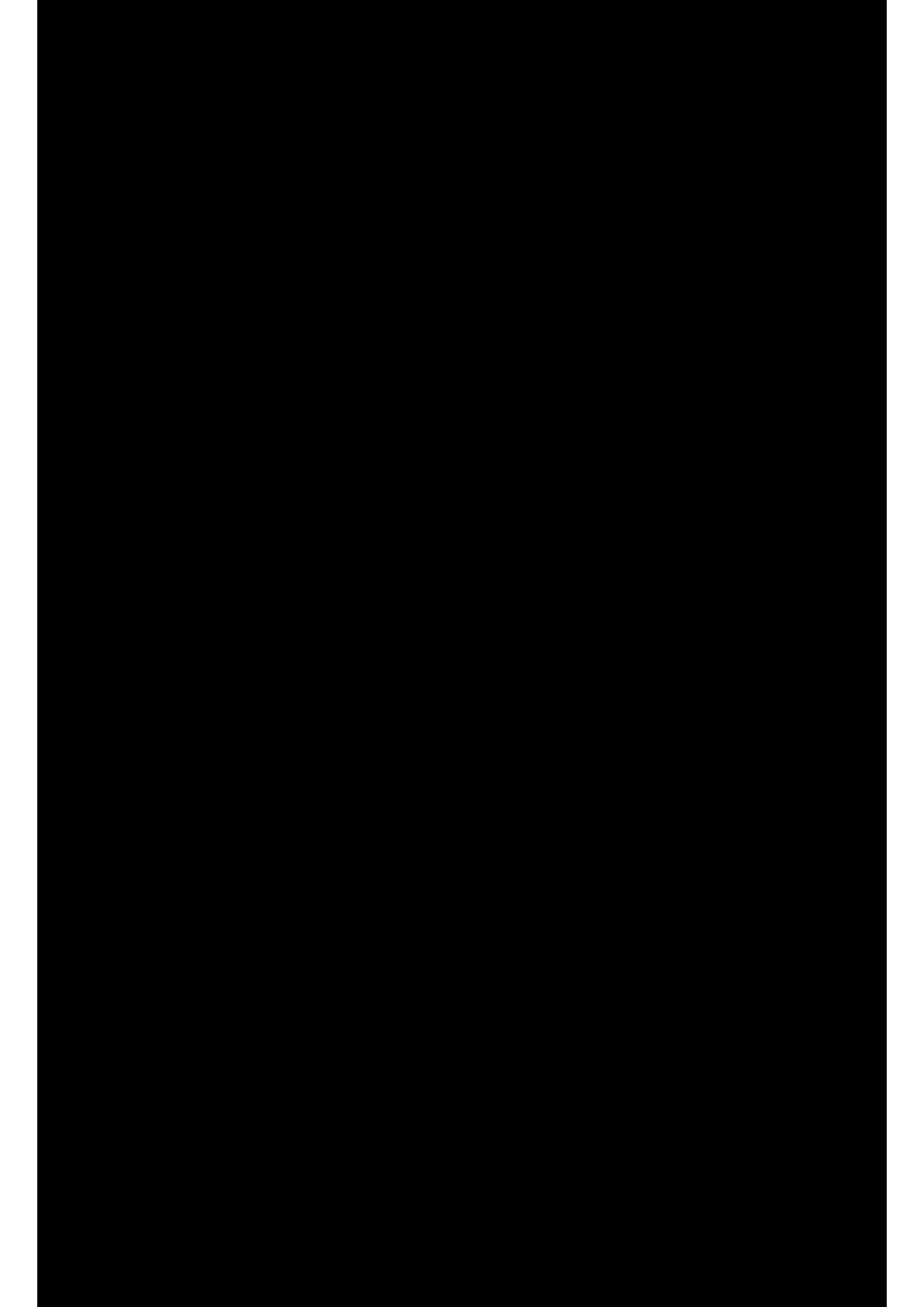


「ああ♡おしっこ出てる♡こんなトイレでもない所で私おしっこ
しちゃってる♡」

「朝になったら人も来るのに♡この水溜りが私のおしっこだつて
気付く人いるのかな…どうしよう、おしっこするの癖になりそう♡」

「次は…もつと人が通る場所にマーキングしたいなあ♡」







はあ♥

はあ♥

ハハハ♥

ハハハ♥

ハハハ♥



『口裂け女変装』はFANBOXにて